

小児科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の患者さん  
またはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、研究用に保管された検体を用いて行います。このような研究は、厚生労働省の「臨床研究に関する倫理指針」の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

[研究課題名] 造血幹細胞移植後の生着前反応と移植合併症の関連性に関する研究

[研究機関] 北海道大学病院小児科、

[研究責任者] 井口 晶裕（小児科・助教）

[研究の目的]

あなたあるいはあなたのお子さんは当院にて造血幹細胞移植(骨髄移植や臍帯血移植等)をお受けになりました。好中球が増加し生着する前に発熱、皮疹、浮腫などのいわゆる成生着前反応を伴っていた方も多数おられました。これらの生着前反応とその後生じた移植合併症（移植片対宿主病（GVHD）、肝中心静脈閉塞症(VOD)、微小血栓性血管障害(TMA)など）との関連性についてはまだよく知られていません。私たちは生着前反応とその後の移植合併症との関係を調べさせていただきたいと考えています。移植の前に口頭で了解をいただいておりますが、移植に際して血液検査を行った残りの血液を保存させていただいております。カルテの情報とともに凍結保存されている血液を用いた研究を行い、今後の移植合併症対策確立に貢献することが目的です。

[研究の方法]

● 対象となる患者さん

当科にて造血幹細胞移植を受けた患者さんで血液を保存されることについて口頭で同意された方

● 利用する検体およびカルテ情報

検体：血液検体（定期採血で採取し、検査を終了した残余分）

カルテ情報：疾患名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査など）、治療内容、合併症、転帰

[個人情報の取り扱い]

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

\*上記の研究に検体を利用することをご了解いただけない場合は、以下にご連絡ください。

[問い合わせ先]

北海道札幌市北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 小児科 担当医師 井口 晶裕

電話 011-706-5954 FAX 011-706-7898